

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06208
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (広島キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	水環境を科学する					
	学問分野	番号	43	名称	環境	
3. 担当教員	尾崎 則篤 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース 教授 内藤佳奈子 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース 准教授					
4. 開講期間 (曜日)	令和 8 年 7 月 25 日 (土)					
開講時間	9 時 00 分～12 時 10 分 (90 分×2 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	50 人 (受入学年 : 1-3 年)					
6. 科目内容・授業計画	<p>本講座では、水環境を科学するという観点から、近年の水環境問題について目には見えない微量物質の測定分析に注目した水質評価や保全対策など身近な例を挙げながら講義します。</p> <p>環境問題とは、人々の活動によって地球環境に変化が生じて起こる問題のことです。今回の環境科学コースでは、主な環境問題の中から水質汚染 (SDGs 目標 6 と 14) を取りあげます。</p> <p>(9 : 00～10 : 30) 「見えないインフラの環境影響～上下水道管路と水質～」 尾崎 則篤 普段は目に見えない上下水道管路は、私たちの生活を支えるとともに、水環境と密接に関わっています。管路の老朽化や漏洩は、水質の変化や汚染物質の拡散を引き起こす可能性があります。本講義では、管路の状態評価の考え方について、微量有機汚染物質の水質測定に基づくアプローチを例に解説します。さらに、それらを地域の水環境問題と結びつけて理解する視点を示します。</p> <p>(10 : 40～12 : 10) 「水環境の今昔～海の現状～」 内藤 佳奈子 赤潮とは、水中の微細藻類が大量増殖や集積をして生じる海水の着色現象のことを言います。微細藻類は、海洋生態系において基礎生産者として重要ですが、種類によっては赤潮を形成して人や海洋生物に悪影響を及ぼす水環境問題へと発展します。瀬戸内海の状況も昔と今では変化しています。海に存在する微量栄養素と赤潮発生の現状について、わかりやすく解説します。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件 ※1 ○あり・ない	① 最少開講人数 (5 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 : 6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など					
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。